IR

Investor Relations

2011 News

第48期　中間事業のご報告

平成23年4月1日～平成23年9月30日

Contents

- トップメッセージ
- アンケート結果
- 特集
- 財務ハイライト
- トピックス
- セグメント別事業概況
- トピックス
- 会社概要

サンコーテクノ株式会社

JASDAQ
証券コード：3435

トップメッセージ

中期経営ビジョン達成に向け着実にステップを踏んでいます

代表取締役社長
洞下英人

Q1 当上半期の概要についてお聞かせ下さい。

A1 当社グループの上半期の実績は、売上高が65億34百万円（前年同期比 1.7%増）、経常利益は1億94百万円（同 18.5%増）となりました。今年3月に発生した東日本大震災の復旧･復興に向けた小規模な修復工事が数多く発生して、金属拡張アンカーや接着系アンカーは好調に推移しましたが、耐震補強工事や設備投資などが伸び悩みました。また西日本地域を中心とした建材の供給不足や、計画されていた工事着工物件の予算執行に遅れが出たほか、計画停電により経済が停滞したことも影響し売上面では計画を下回る結果となりました。

一方、収益面では、引き続きコストダウンの徹底を図ったことで利益率が向上し、計画を上回る結果となりました。サプライチェーン強化を目的に業務の改善及び製造の効率化と合理化を進めた結果と考えています。

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社　是

創り、活かし、満たす
— 人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす —

社　訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを
目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定

Q2 通期の見通しについてはいかがですか。

A2 売上面では、耐震補強工事などの持ち直しや復興に向けた取組みの本格化を受けて、下半期には建設関連製品の需要増を期待しています。しかしながら利益面では、11月に上半期の業績予想を上方修正しましたが、経済環境は依然として不透明で、とくに西日本地域における設備投資は引き続き低調に推移することが予想されることから、通期の業績予想は変更していません。

Q3 中期経営計画も含め、取り組まれている施策について教えて下さい。

A3 まず中期経営計画ですが、定量目標については、着実にステップを踏んでいると考えます。なかでも新製品の販売拡大について、環境分野における太陽光関連製品「あと基礎アンカー」や「ディー・アーススクリュー」が伸張の兆しがあり、メガソーラー等の大型案件の確保を目指すなか、引き合いも見られ始めています。目下、設置場所の調査から施工、そして性能確認まで一貫して行う、システム提案できるよう推進しているところです。

また、我々は3つの大改革を重点施策として取り組んでおります。一つは、人財改革です。「創造」「挑戦」「共生」という3つのキーワードを理想として掲げる当社グループ人財像の実現に向け、社員一人ひとりが日々研さんしております。社員の成長こそが会社の発展に繋がります。ですから会社としては、社員または部門で自ら設定した目標の達成意欲をさらに高めるような、評価制度の見直しや学べる環境の提供などを通じてサポートしていきます。二つ目は組織改革です。前期より事業部制を導入してスピード経営を実践するかたわら、国内においては合理化、タイ工場では設備投資を行うなど、着々と進んでおります。三つ目はシステム改革です。6月に新しい基幹システムを導入しましたが、入手したデータをどのように活用するかがこれから重要になります。ITを利用することで、各自が効率化（コストダウン）を推進すると共に、新たな業務の拡大に意欲的に取り組む気概を啓蒙し、人財改革と共に社員教育を充実させていきます。

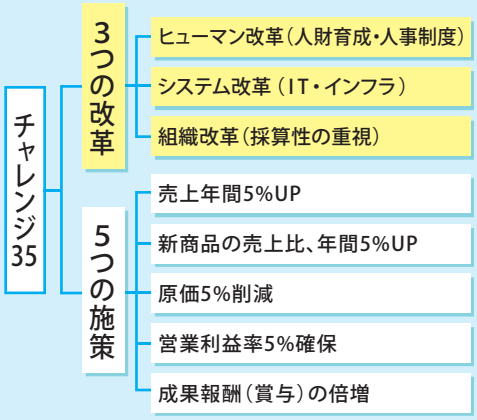
海外戦略としては、8月に当社グループ会社であるS.F.T※1の全額出資により、ベトナムに子会社（孫会社）「SANKO FASTEM（VIETNAM）LIMITED」（以下、S.F.V）を設立しました（11月より営業開始）。S.F.VとS.F.Tとのグループシナジーを発揮することで東南アジアにおける販売網の拡大を図ってまいります。

※1　S.F.T…SANKO FASTEM（THAILAND）LTD.

SANKO FASTEM（VIETNAM）LIMITED

中期経営ビジョン・戦略　PLAN2014

経営スローガン・チャレンジ35



Q4 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A4 当社は建設分野だけではなく、環境関連など新たな分野への投資を行い、アルコール測定器なども含め「安全・安心」のために取り組んでいます。市場変化が激しいなか、新たな分野で成果を上げるには時間がかかりますが、「人のお役に立てる」ように社員一同精進していきます。

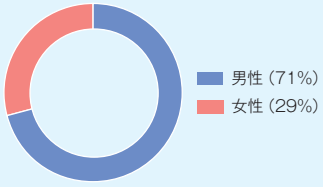
長期的な観点から、当社グループの成長を見守って下さいますよう、何卒、よろしくお願いいたします。

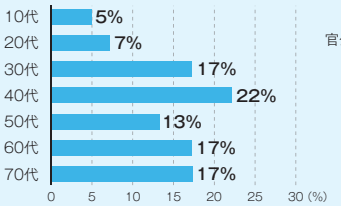
2011 年 11 月

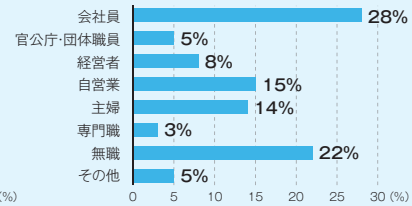
株主様アンケート結果のご報告

本誌「IR News」第47 期事業のご報告において実施させていただきました、「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下にアンケート結果の一部をご報告いたします。

▶ご回答者様の属性等







▶アンケート回答結果

Q1. 当社のIRニュースの感想はいかがですか?

とてもわかりやすかった	24%
わかりやすかった	63%
どちらでもない	13%
わかりにくかった	0%
とてもわかりにくかった	0%

Q2. 特に興味を持ったページはどこですか?（複数回答）

トップメッセージ	36%
特集	63%
財務ハイライト	21%
セグメント別事業状況	15%
トピックス	10%

Q3. 今後、当社に何を期待しますか?（複数回答）

安定的な収益	52%
積極的な事業拡大	24%
株主への利益還元	47%
株主優待の実施	40%
工場見学（説明会）の実施	6%
その他	2%

Q4. 当社株式購入の理由は何ですか?（複数回答）

将来性・成長性	49%
安定性・業界トップシェア	23%
経営トップの考え	13%
商品開発力・技術力の高さ	28%
財務内容	8%
配当性向・配当利回り	28%
その他	4%

Q5. 当社に対する不満はありますか?（複数回答）

業績	5%
株価	23%
配当	16%
認知度	32%
出来高・流動性	13%
商品 PR	7%
特にない	28%
その他	0%

Q6. 当社ホームページ、IRサイトについてご感想はいかがですか?

とても見やすい	8%
見やすい	45%
どちらでもない	23%
見にくい	2%
とても見にくい	0%
見たことが無い	22%

Q7. 当社のIR活動についての評価を教えて下さい。

満足	15%
まあまあ満足	53%
どちらでもない	28%
やや不満	3%
不満	1%

【IR担当者より】

ご回答いただいた株主様の 87% より「わかりやすかった」との評価をいただきました。これからもお読みいただいた方に、弊社のことをわかりやすくご理解いただくための紙面作りを心がけてまいります。興味を持たれた内容として特集、トップメッセージ、財務ハイライトが上位にあり、より充実した内容にすると共に他ページも興味を持っていただくための工夫をしてまいります。皆様からいただきましたアンケート結果、貴重なご意見は、引き続き当社グループの経営方針やIR活動の参考とさせていただきます。

特集

アルコール測定器・IT点呼システムについて

呼気アルコール測定システム

ALCGuardian® System

アルコガーディアン システム

飲酒運転は法律（道路交通法）で禁止されているにもかかわらず、後を絶ちません。
そこで 2011 年 5 月 1 日の法制化※により、点呼時にアルコール検知器の使用が義務づけられました。事業者は、点呼時にアルコール検知器を用いて酒気帯びの有無を確認せねばならず、また営業所ごとにアルコール検知器を備えることなどが必要となりました。
当社グループの呼気アルコール測定システム「ALC Guardian Net」は、メインとなる拠点からすべての事業所の端末を連動させて、測定データの集計や閲覧、互通信可能なテレビ電話機能を利用しての点呼実施ができる点呼ネットワークシステムです。

※法制化とは
トラック・バス・ハイヤーなど（特に緑ナンバーの事業用自動車を5台以上保有する）自動車輸送事業者に対し、飲酒により安全運転が出来ないおそれのある運転者の乗務を禁止し、点呼時に酒気帯びの有無の確認を求めるもの。

呼気アルコール測定システム
ALCGuardian® Net
アルコガーディアン ネット

Special Report

お客様のニーズに合わせた、機能別のアルコールチェッカーシステム

プリンターで記録保存

PCでデータ管理

複数事業所のデータを一元管理

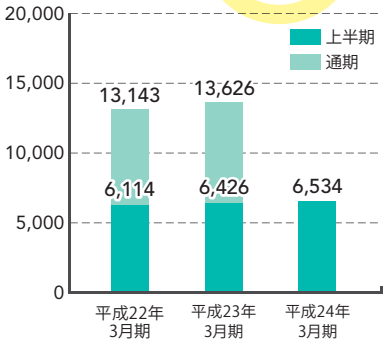
財務ハイライト

当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。当第２四半期連結累計期間の売上高は6,534百万円（前年同期比 1.7％増）、経常利益は194百万円（同 18.5％増）、四半期純利益は 88百万円（同 7.1％減）となりました。

●売上高

前年同四半期比 **1.7%増**

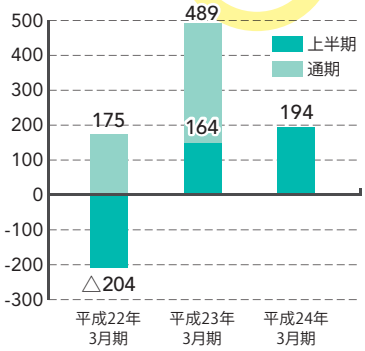
（単位：百万円）



●経常利益

前年同四半期比 **18.5%増**

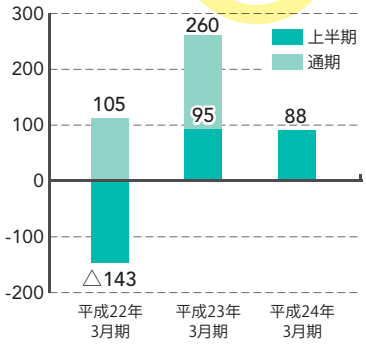
（単位：百万円）



●当期純利益

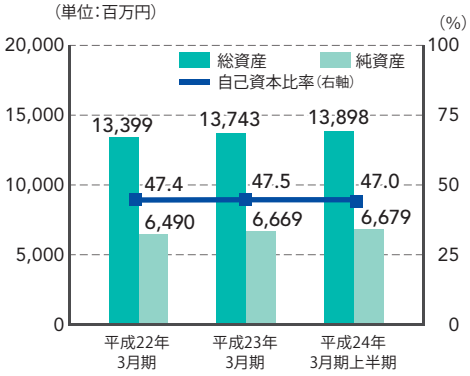
前年同四半期比 **7.1%減**

（単位：百万円）



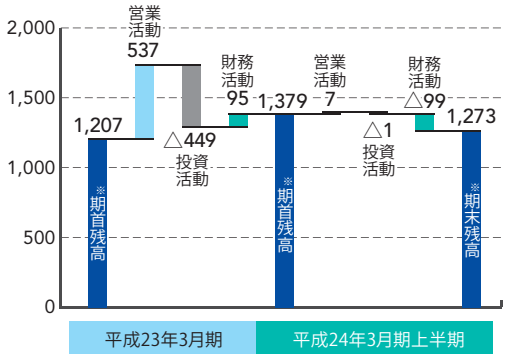
●総資産・純資産／自己資本比率

（単位：百万円）



●キャッシュフロー状況

（単位：百万円）



※現金及び現金同等物

●通期業績（要約）

（当第2四半期：平成23年4月1日～平成23年9月30日 前第2四半期：平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（百万円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期	増 減
売 上 高	6,534	6,426	1.7%
営 業 利 益	218	170	27.8%
経 常 利 益	194	164	18.5%
当期純利益	88	95	△7.1%

●貸借対照表（要約）

（当第2四半期：平成23年4月1日～平成23年9月30日 前期：平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（百万円）

科 目	当第2四半期末	前 期 末	増 減
流 動 資 産	7,685	7,400	3.9%
固 定 資 産	6,212	6,343	△2.1%
資 産 合 計	13,898	13,743	1.1%

科 目	当第2四半期末	前 期 末	増 減
流 動 負 債	5,916	5,718	3.5%
固 定 負 債	1,302	1,355	△3.9%
純 資 産	6,679	6,669	0.1%
負債・純資産合計	13,898	13,743	1.1%

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建材資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。

リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。

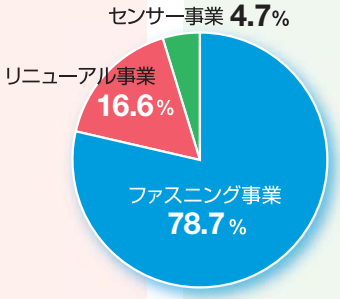
センサー事業

車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。

●セグメント別売上高構成

（平成24年3月期 上半期）

※セグメント間取引を含んでいるため、
合計額は連結売上高と一致しておりません。



金属拡張アンカーや接着系アンカーが好調に推移しましたが、被災地以外では建材の供給不足や予算が付かず工事着工予定物件の遅れが生じました。

●売上高
5,191 百万円
●セグメント利益
252 百万円

震災により、建築工事関連や外壁補修関連の工事が先送りになるなど影響がありましたが、耐震補強工事で大型物件の受注やFRPシート関連製品が順調に推移しました。

●売上高
1,092 百万円
●セグメント利益
△29 百万円

事務所設置型アルコール測定器の需要は一巡したものの、7月に発売したモバイル型アルコール測定器が好調に推移しました。

●売上高
308 百万円
●セグメント利益
△12 百万円

Topics 各種展示会にて製品をPRしました。

InterMach2011

（2011年5月19日−22日／バンコク国際貿易展示センター）
InterMach は毎年、バンコクにて大規模に開催されている展示会です。金属系アンカーや接着系アンカーを出展し、趣向を凝らした展示でお客様の注目を引くことができました。

2011東京トラックショー

（2011年10月27日−29日／東京ビッグサイト）
トラックショーは、昨年出展した物流展と隔年で開催される、トラック業界の一大イベントです。当社ではセンサー事業がアルコール測定システム等を出展しました。買い替え需要や潜在ニーズを認識することが出来ました。

免責事項　本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。
実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

会社概要

（平成23年9月30日現在）

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	304名（連結551名）
所在地	千葉県流山市東初石六丁目183番1 TEL 04-7178-5535 FAX 04-7178-5557
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等）、複合材、防水材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入

役員

取締役会長	洞下　実
代表取締役社長	洞下　英人
取締役副社長	佐藤　静男
常務取締役	洞下　正人
常務取締役	八谷　剛
取締役	上石　茂行
取締役	増田　誠次
取締役	佐藤　靖
監査役	甲斐　常敏
監査役	鈴木　英雄
監査役	塙　善光

関連会社

連結子会社
SANKO FASTEM（THAILAND）LTD.
三幸商事顧問股份有限公司
株式会社IKK
アイエスエム・インタナショナル株式会社
株式会社スイコー
SANKO FASTEM（VIETNAM）LTD.

持分法適用関連会社　株式会社サンオー

持分法非適用関連会社　株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

（平成23年9月30日現在）

発行可能株式総数	3,500,000株
発行済株式の総数	2,186,352株
株主数	729名

大株主

当社への出資状況

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
洞下　実	248	11.37
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.23
濱中ナット販売株式会社	176	8.07
有限会社サンワールド	168	7.68
サンコーテクノ社員持株会	137	6.28
武藤　昭二	93	4.27
新井　栄	68	3.13
洞下　照夫	53	2.45
株式会社みずほ銀行	44	2.03
佐久間　菊子	41	1.91

（注）1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式（151千株）を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（http://www.sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お問い合せ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

Web Information

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示をしております。当社をより理解していただくためにも、ぜひアクセスをお願いいたします。

TOP画面

IR情報画面

http://www.sanko-techno.co.jp/

サンコーテクノ株式会社
〒270-0114　千葉県流山市東初石六丁目183番1

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C012538
VEGETABLE OIL INK
この冊子は環境保全のため、植物インキとFSC®認証紙を使用しています。